

10/30 総務大臣賞受賞  
上士幌コンシェルジュ

過疎地域の活性化に創意工夫をもって取り組んだとして、NPO法人上士幌コンシェルジュ（田西長徳代表）が「過疎地域自立活性化優良事例表彰総務大臣賞」の受賞を竹中町長へ報告しました。

受賞をうけて橋内専務理事は「北海道といえは上士幌と言われるよう今後も頑張りたい」と話されました。



10/16 タウシュベツ川橋梁の模型を  
教育委員会へ寄贈

NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンター（河田充代表）が教育委員会を訪れ、タウシュベツ川橋梁の1000分の1模型を寄贈しました。

寄贈された模型は、クラウドファンディングにて集められた資金をもとに、橋の姿を後世に伝えようと作成されました。河田代表は「いろいろな人に地域の歴史を知ってもらえれば」と話されました。

模型は、生涯学習センターに展示されています。



11/2 町民文化祭開催(展示・芸能)

町民文化祭の展示部門（11月2日～4日）、芸能部門（4日）が開催されました。

展示部門では、書道、写真、陶芸、手芸などの芸術作品が勢揃い。3日には呈茶も行われ、来場者をもてなしました。芸能部門では、41の演目が披露され、民謡、カラオケ、ダンスなどで日ごろの練習の成果を発揮し、来場した観客を大いに沸かせていました。

10/23 トランポリンで全道へ  
北澤さん、竹内さん

第40回北海道トランポリン競技選手権大会（美深町）へ出場する上士幌小学校1年の北澤星来さんと竹内愛詩さんが教育委員会を訪れ、大会への抱負を語りました。

北澤さんは「一生懸命頑張ります」と抱負を述べ、竹内さんは「新しい技で決勝まで残れば」と意気込みを語ってくれました。



10・11月の  
まちなわだい

10月28日、上士幌中学校卓球部のみなさんが、2区行政区の方々とアダプト花壇整備を実施してくれました。



役場の新人紹介(地域おこし協力隊員)

- ◆名 前：西村 剛<sup>つよし</sup> (48歳)
- ◆職 種：生涯活躍のまち推進員  
(企画財政課)
- ◆出身地：大阪府

生涯活躍へ向けた事業で、まちの皆さまと関わらせて頂くことを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。



- ◆名 前：明石 穂乃香<sup>ほのか</sup> (23歳)
- ◆職 種：社会教育推進員  
(生涯学習課)
- ◆出身地：札幌市

上士幌高校のコミュニティスクールコーディネーターとしてお世話になります。みなさんのお力をお借りしながら貢献したいと思っていますので、よろしく申し上げます。



10/29 卓球全国大会へ  
上士幌中千年さん、山崎さん

平成30年全国卓球選手権大会カデットの部に出場する千年颯太さん、山崎航誠さんが竹中町長のもとを訪れ、全国大会への抱負を語りました。

シングルス、ダブルスに出場する千年さんは「シングルス、ダブルスともにベスト16を目指す」と話し、千年さんとのダブルスに出場する山崎さんは「1つでも多く勝てれば」と意気込みを語り、竹中町長から「全国でたくさんの方のことを学んでほしい。良い結果を期待しています」と激励の言葉が贈られました。



10/26 防犯栄誉銅賞を受賞  
町内3区鈴木弘さん

地域の安全活動に尽力したとして、公益財団法人全国防犯協会連合会から防犯栄誉銅賞が鈴木弘さんへ贈られました。

上士幌町生活安全推進協議会の副会長を務められている鈴木さんは「毎日朝に町内の住宅街を巡回している。困っている方の相談に乗ることも。地域の方々のご協力があって務められている。今後も犯罪のない町づくりに尽力したい」と話されました。



川柳

世界中英語と笑顔で意思疎通  
子の成長感じる冬へ衣替え

石四戸の光  
児の父

短歌

張りつめた視線見守る氷上に放つ演技は神秘のわざよ  
白鳥ら冬の青空飛び回り寒さ気にせず姿美し  
コンテナに入りし牛蒡の重たきを選別台に運んで乗せる  
下駄箱や階段手すりを拭く仕事朝の「わっか」で皆と楽しく  
掃除おえ次は足の運動と「わっか」の外を歩いてまわる  
寒さ増しタイヤ交換終えたれば父共々一安心する  
不自由な指を添えつつ懸命に筆を運びし君を偲ぶも

石松高小米米尾  
川田木松森森野  
裕理誠義博真よし  
子恵也美樹弓乃



◎先日、日本人2人目のNBAプレイヤーが誕生しました。2mを超える身長にもかかわらず、軽快なプレイとディフェンス力が魅力の選手です。しかし、一番驚いたことが細かいプレイにも手を抜かないところ。全力でNBAという舞台で戦う姿にとても感動しました。…M

◎最近すっかり冷え込んできました。暖房はもちろんのこと、股引が必須な季節です。「股引暖かい!」と言うと、「股引?」と首を傾げられることもしばしば。近年は使われない言葉になってしまいましたね。同じくヤッケやアルミも使われなくなった気がしましたが、ヤッケについてはまだまだ現役だそうです。どんどん使っていきましょう。ヤッケ。…T

広報かみしほろ 1月号は12月25日(火) 発行予定

平成30年 10月末現在の人口

男性	2,447人(+3人)
女性	2,569人(-4人)
人口	5,016人(-1人)
世帯数	2,542世帯(-1世帯)

平成30年度 ふるさと納税寄付金

10月分	8,935件 151,343,145円
累計	44,819件 682,369,020円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。  
※11月14日現在

寄付 (10/17~11/12)

◎11月3日、上士幌タクシー株式会社代表取締役川村勝様が、町の振興のため10万円を寄付されました。

上士幌高校です!

文責: 教頭

TITLE: 見学旅行で上士幌町をPR

今年の見学旅行は、10月下旬に広島・奈良・京都・大阪を訪れました。10月28日(日)の午前中は2グループに分かれ、金閣寺、宇治平等院、嵐山、天竜寺を見て回り、午後は新京極で恒例のPR活動です。上士幌町農協から提供いただいた小豆(110g)と町の観光冊子、あんこのレシピの3点セットを、上高生70人と「ほろんちゃん」が道行く人々に配り歩きました。初めは声をかけづらそうにしていた生徒たちも、ほろんちゃん人

気とバスガイドさんの応援に励まされ、外国の方にも積極的に上士幌町をPRしていました。観光客でごった返す日曜日の昼過ぎだったこともあり、用意した1000パックのPRグッズは予定していた時間の半分で全部さばけてしまいました。

なお、PR活動で配った小豆が美味しかったと現地の高校生から礼状が届きました。

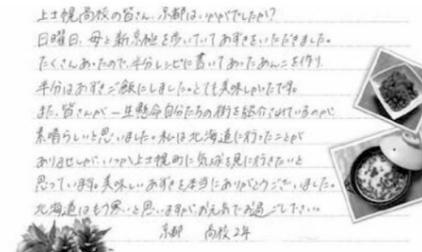
以上、上高振興会から参加費の補助もあり、有意義な5日間を過ごすことができました。



▲PR活動の様子



▲PR活動へのお礼状



上士幌高校新聞局通信

月刊 上高

見学旅行に行ってきました

文責 武井 隆史

10月26日~30日で行ってきた見学旅行の自主研修は京都→大阪→京都という予定で、大阪駅までは良かったのですが、そこから予想

外なことが。①梅田スカイビルの屋上で景色を見る予定が、小雨のうえに屋上工事中と、出だしから予定が崩れた。②串カツの店ではやたらと飲み物を進められ、食べる気がなくなった。③ゲームセンターでお金を沢山使ったわりに得たものは少なかった。④京都の万華鏡ミュージアムが定休日。⑤ファイナレを飾るはずの伏見稲荷は時間切れで行けなかった(行けたのは予定になかったアニメイトのみ)。と色々ありましたが、思い出になったことは確かです。1年生は来年、時間を気にして調べてから動いて下さい。



△最高に美味しかった大阪のたこ焼き



△初めて見た本物の通天閣